

第4回日野川河川整備計画アドバイザー会議

開催日時：令和7年10月21日（火）

15時00分～17時00分

開催場所：日野川河川事務所

別館2階第1会議室

(Web併用)

1. 開会

2. 議事

1) 日野川水系河川整備計画の進捗状況報告

- (委員) 河川改修事業の10年間の成果というのが目に見えて出ていると改めて感じた。整備計画のメニューも多岐にわたり、色々なところで努力されている成果が見えてきたと思う。
- (委員) 順調に進捗していると思うので、事業をこのまま続けていただきたい。河道掘削の整備が進んでいるが、モニタリングを続けていくと掘削箇所が埋まることがあると思う。総合土砂管理計画でモニタリングをして、その結果を踏まえて河川整備計画または総合土砂管理計画に修正が反映されていくことになるか。
- (事務局) 定期縦横断測量を5年に一度行い、堆積している場合には、維持管理として土砂掘削などの対応を行っている。
- (委員) 構造物の耐震対策及び津波対策は樋門の1箇所だけだが、津波の河川遡上なども考えると堰も対象になるのではないか。
- (事務局) 当事務所では日野川堰を管理しており、日野川堰の耐震対策もやるべきと考えているが、整備計画の進め方として、まずは掘削や築堤などの流下能力向上のメニューの整備に重点を置いて、整備計画を策定している。
- (委員) 事務所職員が出前授業をされていることは素晴らしいイベントだと思う。日野川は歴史のあるとても重要な河川でもある。少なくとも生徒や地元の方たちに意識をしていただいて、文化的、歴史的な自然物を今後も保存していただけるような取り組みをぜひ続けていただきたいと思う。30年の河

川整備計画の内 10 年が経ち、残りの 20 年間の企画、非常に期待している。

- (委員) 川に近づける場所が多くないため、川を親しむようなイベント事業も今後 20 年の中に入れていただきたい。
- (事務局) 川の魅力や文化、歴史について出前授業等を通じて伝えていければと考える。
- (委員) あと 20 年整備を行うが、今の若い人たちがあとを担っていき、彼らが実際にこのような場に携わる取り組むことにもなるかと思う。

- (委員長) 審議の結果、進捗点検のまとめ（案）のとおり日野川整備計画に定められた整備内容を引き続き継続することが妥当と判断する。

2) 日野川直轄河川改修事業の事業再評価

- (委員) 事業の進捗の見込みの視点で、関係機関及び地域との協力体制も構築されているとあるが、協力体制とは何か。
- (事務局) 関係機関との協力体制とは、市町村や県、道路事業との協力がある。今後の事業内容として、日野川中流域の溝口での河道掘削を予定している。この河道掘削では、土砂を道路事業に再利用することを考えている。
- (委員) 河川改修事業による堰の改修に伴って利水面の効果や、堰に魚道を設けたり修復したりして魚類生息環境の改善効果も期待できるので、利水面、環境面の便益も含めて評価する必要があると思う。この事業ではどのように扱われているか。
- (事務局) ご指摘の利水面と生息環境の改善、どちらもメリットがあるが、B/C の算出要領で、現状では、利水と生息環境の評価する部分がないため、現時点としてはこの数字には表れてない。ただ、ご指摘いただいたとおり、周辺の状況は、大きく改善されるものであると認識をしている。
- (委員長) 審議の結果、本事業について対応方針（原案）のとおり事業を継続することが妥当と判断する。

3. 閉会